

調査結果の概要

1 国語

全体的な傾向

国語A（知識）の平均正答率は、全国平均よりもやや低い。

国語B（活用）の平均正答率は、全国平均よりも低い。

ペーパーテストの成績はふるわなかったが、質問紙の結果からみると、国語や書くことに前向きに捉えている児童が多い。

<分類・区分別集計結果>

【国語A】

分類	区分	対象設問数	平均正答率（％）		
			本校	宇都宮市	全国
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	1	68.5	69.2	68.0
	書くこと	4	88.3	87.3	85.4
	読むこと	2	66.3	70.6	68.7
	言語事項	12	62.5	63.3	64.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	68.5	69.2	68.0
	話す・聞く能力	1	68.5	69.2	68.0
	書く能力	4	88.3	87.3	85.4
	読む能力	2	66.3	70.6	68.7
	言語についての知識・理解・技能	12	62.5	63.3	64.2
問題形式	選択式	5	80.9	81.6	80.1
	短答式	12	65.0	65.3	65.9
	記述式	1	68.5	69.2	68.0

【国語B】

分類	区分	対象設問数	平均正答率（％）		
			本校	宇都宮市	全国
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	5	56.5	62.8	61.3
	書くこと	2	10.9	15.6	14.5
	読むこと	3	56.5	59.3	56.5
	言語事項	2	51.6	61.5	59.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	6	40.9	48.1	46.0
	話す・聞く能力	5	56.5	62.8	61.3
	書く能力	2	10.9	15.6	14.5
	読む能力	3	56.5	59.3	56.5
	言語についての知識・理解・技能	2	51.6	61.5	59.7
問題形式	選択式	2	65.8	67.8	65.8
	短答式	2	48.4	49.7	48.7
	記述式	6	40.9	48.1	46.0

1つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別の傾向と課題

話すこと・聞くこと

自分の立場や意図を明確にして話合うことに課題がある。

話の組み立てを工夫しながら、図を使って説明することに課題がある。

書くこと

文章の内容に合わせて小見出しを書くことは、多くの児童が理解している。

報告文に必要な事柄を整理したり、事象や意見などを関係付けながら書いたりすることに課題がある。

読むこと

主人公の行動や心情を描写した文章の表現の工夫をとらえることに課題がある。

筆者の表現の工夫や考えをとらえることに課題がある。

言語事項

今回出題した漢字の読みと書きについては、多くの児童が理解している。

ローマ字を正しく読んだり、書いたりすることに課題がある。

接続語を使って一文を二文に分けて書くことに課題がある。

毛筆の下書きについて、書き直す内容を説明することに課題がある。

国語に関する児童質問紙調査の状況

傾向

国語の学習に対して、肯定的な回答の割合が前項平均より高い。

国語の授業中に、工夫して学習することが全国平均よりやや低い。

「国語の勉強は好きですか」という質問の回答は、全国平均より13ポイントと高く肯定的である。

「原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くこと」は難しいと感じている児童は全国平均より19ポイントも低く、文章を書くことに抵抗がない。

指導改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

- ・ 日常的に「話す・聞く」活動を取り入れ、話の要点の聞き取り方やまとめ方などを指導する。
- ・ 社会・総合的な学習の時間・国語でインタビューするなど話の内容を、メモしながら聞くことで、より正確に聞く能力を高め、話の内容が理解できるように練習していきたい。

【書くこと】

- ・ 朝の学習の作文指導や日記指導の時間を通して、時間内に大事なことを落とさずテーマに合った文章が書けるよう、一層指導していく。

【読むこと】

- ・ 読書活動を通して、文学的文章により親しませていく。また、筆者の意図や文脈に即した内容が十分理解できるように、段落の大切な言葉を落とさずに詳しく読み取れるように指導していく。

【言語事項】

- ・ 文の意味のつながりを考えながら接続詞を使えるように、読解の指導の中で充実させていく。作文の指導においても、長文を接続詞を用いて複数の文に分ける指導を意図的に行っていく。

2 算数

全体的な傾向

算数 A（知識）の平均正答率は、全国平均よりやや低い。
 算数 B（活用）の平均正答率は、全国平均よりやや低い。
 質問紙の結果からみると、算数に対して、関心・意欲が高く、活用していくことに肯定的である。

<分類・区分別集計結果>

【算数 A】

分類	区分	対象設問数	平均正答率（%）		
			本校	宇都宮市	全国
学習指導要領の領域	数と計算	9	78.1	84.4	82.8
	量と測定	3	69.6	78.4	78.5
	図形	3	73.2	82.7	81.3
	数量関係	3	65.9	67.0	64.2
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての表現・処理	12	73.1	78.7	77.7
	数量や図形についての知識・理解	6	75.4	83.1	80.8
問題形式	選択式	5	74.6	81.7	76.7
	短答式	13	73.6	79.6	79.5
	記述式	0			

【算数 B】

分類	区分	対象設問数	平均正答率（%）		
			本校	宇都宮市	全国
学習指導要領の領域	数と計算	6	54.3	56.8	55.8
	量と測定	6	57.2	61.1	59.9
	図形	4	53.3	57.3	56.4
	数量関係	4	52.2	57.2	56.8
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	10	42.5	47.0	46.1
	数量や図形についての表現・処理	4	74.7	77.0	76.5
	数量や図形についての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	64.7	69.3	68.9
	短答式	7	61.0	64.4	63.7
	記述式	5	33.5	37.8	36.8

1つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別の傾向と課題

数と計算

整数，小数，分数の四則計算は多くの児童ができている。

数直線から数を読み取ることに課題がある。

情報を整理選択し，筋道を立てて考え，示された判断が正しい理由を記述することに課題がある。

量と測定

長さについての感覚を身につけることは，多くの児童ができている。

示された方眼を基にして三角形の面積を求めることに課題がある。

与えられた条件に合う時刻を，筋道立てて考え，時刻表から選択することに課題がある。

図形

平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質は，多くの児童が理解できている。

円の半径の求め方として示された解決方法を理解し，見方を変えた別の解決方法を考え，それを記述することに課題がある。

事象を観察して図形を見だし，示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択し，求め方を式に表すことに課題がある。

数量関係

百分率を求めることや，基準量と比較量を基にして，割合の大小を判断し，その理由を記述することに課題がある。

減法と除法の混合した整数の計算をすることに課題がある。

算数に関する児童質問紙調査の状況

傾向

算数に関する質問において，肯定的な回答の割合は全国平均より高い。

「算数の授業で学習したことは，将来社会に出たときに役立つ」は，90%を超えた。

算数が好きな児童は，全国平均より4ポイント高く肯定的である。

新しい問題に出会ったとき，解いてみたいと思う児童は全国平均より3.6ポイント高い。

「学習したことを普段の生活で活用できないかと考えますか」の質問では全国平均より7.3ポイントも高い。

指導改善のポイント

【数と計算】

- ・ くり返し計算ドリルなどで習熟を図るとともに，不十分な児童には重点指導を行う。

【量と測定】

- ・ 面積を求める問題では，三角形や平行四辺形など，どの部分を測って計算して求めていくのかを重点的に指導していく。

【図形】

- ・ 計算で角度を求める問題では，図形の性質を重点指導し，正しく理解させる。

【数量関係】

- ・ 減法と除法の混合した整数の計算について重点指導し，繰り返し指導していく。

【その他】

- ・ 文章題などでは，図や絵を用いて具体的に考えることができるようにしていく。

3 児童質問紙調査

...課題があるもの

傾向

「朝食を毎日食べていますか」の質問では、本校は97.9%で、全国平均の96%より高い。

「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか」の質問では、95.8%で全国平均より高い。

「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか」の質問では、83%で、全国平均の74.1%を大きく上回った。

「家の人と学校でも出来事について話をしています」の質問では、本校は78.8%で、全国平均の70.9%より高い。

「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」の質問では、本校は98.9%で全国平均の96.5%より高い。

「家の手伝いをしている」の質問では、本校は71.3%で、全国平均の78.5%より低いので、家族の一員としての自覚を持つように声をかけていきたい。

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問では、本校は59.6%で全国平均の62.4%よりやや低いので、積極的参加を呼びかけたい。